

視聴覚いしかわ

Vol.22

発行／石川県視聴覚教育協議会
編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ
発行人／会長 岩木 智子

令和8年3月19日発行

金沢市石引4丁目17-1 石川県本多の森庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585

人を惹きつけるコンテンツ制作の秘訣

金沢工業大学メディア情報学部メディア情報学科 准教授 根岸一平



概要

本講座では、プレゼンテーションスライドやポスター、あるいは紙媒体の各種資料を作成する際に、人を惹きつけるコンテンツとするための基本的な手法について解説している。ここで注意すべきは、「人を惹きつける」という言葉が、必ずしも「アートの美しい」ことを意味しているわけではないという点である。本講座における「人を惹きつける」とは、あくまで「見やすく、分かりやすい」状態を示している。

アートの美しさは、作成者や閲覧者それぞれの感性に大きく左右されるため、狙いに対する効果を事前に見積もることが難しい。一方で、見やすさや分かりやすさについては、その要因がある程度明らかにされており、体系的に整理されている。そのため、例えば筆者のように美的センスに自信のない人でも、少しの知識と最低限の手間をかけることで、一定水準以上の成果を得ることが可能である。

レイアウト

日本語のフォントタイプは、大まかには明朝体とゴシック体の2種類に分類することができる。ポスターなどの掲示物やプレゼンテーションスライドにはゴシック体を、文章量の多い書類などの資料には明朝体をメインに使用すると、全体として良い結果が得られやすい。なお、英文フォントについては、明朝体にはセリフ体、ゴシック体にはサンセリフ体をそれぞれ対応させると、和文と混在した場合でも見た目の収まりが良くなる。ほかにもデザイン書体と呼ばれるフォントタイプが数多く存在するが、いずれも強い個性や特徴を持っているため、使用目的や閲覧者への影響を十分に検討してから採用することが望ましい。

字下げや文字の揃え方、フォントサイズなどの設定については、同一コンテンツ内で共通のルールをあらかじめ決めておくことが重要である。これにより、全体の雰囲気が一統されるだけでなく、丁寧に作り込まれたコンテンツであるという印象を与えることができる。情報の重要度に応じて字下げやフォントサイズを設定することになるが、特にプレゼンテーションスライドでは煩雑になることを避けるため、重要度の段階は3段階以内に抑えることが望ましい。また、文章が数行にわたって続く場合に堅苦しい印象を与える場合があるが、行間を適度に広げることでそれを和らげることができる。文章の一部を強調したい場合には、下線を引いたり、文字の太さや色を変えたりといった方法が有効であるが、多用しすぎると全体が煩雑になり、かえって本当に重要な部分が分かりづらくことには注意する必要がある。

写真や図表など、文字以外のオブジェクトを配置する際に

は、それぞれのサイズや位置を意識的に調整し、揃えることが重要である。また、各オブジェクトの大きさの比率を「ジャンプ率」といい、このジャンプ率を大きく設定することで、特定の要素を強調すると同時に、コンテンツ全体に躍動感を持たせることができる。反対にジャンプ率を小さくすると、落ち着いた安定感のある雰囲気を演出することができる。

色使い

色を使用することで、モノクロと比較して華やかな印象を与えることができるが、その一方で、白黒に比べて視認性が低下してしまうことに注意する必要がある。表色系（色を数値として扱うための座標系）の中には、マンセル表色系やPCCSなど、「明度・彩度・色相」を用いて色を表現するものがあるが、これらの要素の中で特に明度は視認性に大きな影響を与える。例えば、背景色とその上に配置された文字色を考える際に、両者の明度差が大きいほど文字は読みやすくなる。背景色と文字色の明度差が小さい場合には、仮に赤と緑、青と黄色といった反対色の組み合わせであっても、その境界が曖昧になり、結果として読みづらくなってしまふ。この考え方は、文字だけでなく、グラフやイラストに色を設定する場合や、プレゼンテーションスライド全体の配色を検討する際にも同様に当てはまる。

プレゼンテーションの場では多くの参加者が自然とスライドに注目する状況が生まれるが、ポスターなどの掲示物の場合は事情が異なり、まずは「見てもらう」こと自体が重要となる。そのために色を用いて目立たせるという手法が有効となるが、その際には「誘目性」という指標が参考とされる。誘目性とは簡単に言えば目立ちやすさを表し、誘目性が高い色ほど、周囲の中で目を引き人の注意を集める力が強い。周囲の配色によって多少の違いはあるものの、一般的には黄・赤・橙といった色が誘目性の高い色として知られている。

おわりに

本講座では、コンテンツ制作に必要な知識の中でも、特に重要でありながら比較的低い労力で高い効果が期待できる要素を中心に紹介してきた。多くの時間をかけたり、高度なデザインスキルを身につけたりしなくても、少しの手間と心遣いを加えるだけで、十分に魅力的なコンテンツを作成することは可能である。今回紹介した内容を心の片隅にでも留めておき、ビジュアルコンテンツを制作する機会があった際に思い出して活用してもらえると幸いである。

(令和7年8月5日開催 第1回ICTセミナー)

令和7年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

令和7年度の活動内容を紹介します。

令和7年度理事会・総会

令和7年度 役員一覧

会 長	岩木 智子	石川県立生涯学習センター館長	監 事	北村 光広	白山市	
副会長	山崎 京子	野々市市	"	桶作 亜由香	かほく市	
理 事	水野 香乃子	小松市	参 与	小山内 裕之	石川県教育委員会生涯学習課長	
"	辻岡 美佳	金沢市	事務局	事務局長	佐藤 昌宏	生学セ・学習情報グループリーダー
"	広島 麻鈴	羽咋市		事務局員	小野 融	生学セ・学習情報グループ
"	新谷 由里子	珠洲市		"	谷内 明	"
"	古川 かおり	石川県教育委員会生涯学習課		"	宮下 慶之	"
				"	新出 真未	"

令和7年度理事会は、令和7年5月8日（木）、石川県本多の森庁舎内の会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド方式で開催し、令和6年度事業報告・決算及び令和7年度事業計画・予算案が原案どおり承認されました。その後、令和7年度総会を文書方式で実施し、同じく原案どおり承認されました。

情報技術活用研修会

各市町において実施される情報技術活用を目的とする研修会です。

令和7年度は、次の2市町で実施されました。

実施主体	研修会名（内容）	開催時期	場 所
穴水町	スマホのお悩み解決 スマホ教室	令和7年6月1日 ～令和8年3月31日	さわやか交流館ブルートほか
野々市市	アニメーションづくりワークショップ	令和7年8月26日	野々市文化会館フォルテ

ICT セミナー

当協議会が、各市町視聴覚教育担当職員などを対象に行う研修です。

(1) 「人を惹きつけるコンテンツ制作の秘訣」

日 時：令和7年8月5日（火）14:00～15:30

会 場：学びの杜ののいちカレード

講 師：金沢工業大学メディア情報学部 准教授 根岸一平 氏

参加者：7名

ポスターやスライドなどのビジュアルコンテンツでは、掲載する情報が多くなるほど各項目の印象が薄れてしまうことがあります。伝えたい内容をうまく伝えるために、効果的なレイアウトや配色等の手法について学びました。参加者からは「わかりやすい説明だった」、「期待していた内容だった」などの声が寄せられました。



(2) 「Google ツール活用講座 基礎編」

日 時：令和7年11月14日（金）13:30～16:30

会 場：県立生涯学習センター 教室1

講 師：Office アシスタ代表 山川 広美 氏

参加者：9名

Google が提供しているGメール、Google ドライブ、Google スプレッドシート等の概要と基本操作を学びました。参加者からは、「今まで使ってこなかったので新しい知識が増えてよかった」、「実践的な内容でよかった」などの感想が寄せられました。



(3)「Google ツール活用講座 応用編」

日 時：令和7年12月17日（水）13:30～16:30
会 場：県立生涯学習センター 教室1
講 師：Officeアシスタ代表 山川 広美 氏
参加者：7名



前回の基礎編に引き続き、今回は応用編として、Google ドライブ、Google スプレッドシート等について、参加者からの疑問や要望を交えながら、実践的に操作方法を学びました。「参加者の疑問からスタートしていただき役立つ内容となった」、「アンケートやQRコードの作成方法がわかってよかった」などの感想をいただきました。

県民映像カレッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。（石川県民大学校 教養講座）

日 時：令和7年8月22日（金）13:30～16:00
会 場：県立生涯学習センター 教室1
講 師：金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文 氏
参加者：4名



撮影の際にビギナーが陥りやすいカメラワークやプロに近づく撮影技術について講義をいただき、その後、受講者の撮影した作品についての具体的な指導や、実際にカメラを構えての指導をいただきました。

受講された皆さんが講座の成果を発揮し、地域の映像記録に力を発揮され、多くの映像作品が制作されることを期待します。

まなびすとルームが

県立生涯学習センター
からのお知らせ

4月1日

リニューアルオープンします！

県民企画展示(マナビコーナー)

展示作品募集！

皆さんの作品を展示してみませんか？

生涯学習の成果の発表の場として、展示コーナーを無料で提供しています。

手づくり作品等の展示や研究発表の場として、是非ご活用ください。

- ・展示期間：2～4週間まで
- ・展示時間：9:00～18:00
土日祝日も開館します。（年末年始は休館）
- ・展示できるもの

絵画、陶芸、書、写真、俳句などの生涯学習成果の作品展示、児童生徒の研究発表の発表など。

（展示は当センターのHPでも紹介します。）

※非営利でかつ宗教活動・政治活動ではなく、公序良俗に反しない展示に限ります。

・申し込み方法、お問い合わせは・・・

076-223-9574

※事前に展示希望期間のお問い合わせをお願いします。

視聴覚ライブラリーで DVDを借りませんか

石川県の歴史・文化・自然を取り上げた「いしかわ大百科」をはじめ、生涯学習やお子様の情操教育に役立つ視聴覚教材（DVD、VHS、16mmフィルム）を、無料で貸し出しています。

- ・貸出対象：県民の方々（高校生以上）
- ・貸出期間：1週間
- ・貸出本数：1回につき合計5点まで
（新着教材は2点まで）

※会員登録（無料）が必要です。

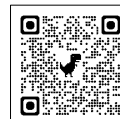
（本人確認書類の提示をお願いします。）

※16mmフィルムは、映写機操作技術認定を受けた方が所属する団体に貸出します。（映写機貸出可）

※どんな教材があるか

あいあいネットでご覧ください。⇒⇒

URL <https://inet.pref.ishikawa.jp/>



お問い合わせ先：石川県立生涯学習センター（まなびすとルーム） Email:manabi-r@pref.ishikawa.lg.jp
〒920-0935 金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL:076-223-9574 FAX:076-223-9585

令和7年度（第56回）いしかわ映像作品コンテスト

共催：石川県教育委員会
 後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会
 石川県高等学校視聴覚教育研究会
 石川県社会教育協会
 石川県公民館連合会

募集期間：令和7年10月1日(水)から
 令和8年1月22日(木)まで

審査会は、2月4日(水)に県立生涯学習センターにて行われました。2時間に及ぶ審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

授賞式は、2月28日(土)14:00より、石川県本多の森庁舎2階第3会議室にて行われました。

受賞された方8名が出席され、石川県教育委員会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会、石川県視聴覚教育協議会から、各賞の賞状授与が行われました。

終了後、講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、式は終了しました。

受賞された皆様、おめでとうございます。



☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

令和7年度の応募作品10点の中から、厳正なる審査の結果、最優秀賞に金沢錦丘高校の「美川と、夢の跡」を選出しました。北前船をテーマに据えた緻密な取材力、そして構成・撮影・編集の各工程における技術水準の高さが際立つ力作です。優秀賞には、アートセラピーに着目した「あーと～アナタのいばしょ～」(金沢錦丘高校)、および衛生管理の肝要さを説いた「金工NEWS」(金沢市立工業高校)の2作品を選出しました。このほか、今後の活躍が期待される2作品に奨励賞を授与しています。

AI音声の活用やアクションカメラ、ドローン等の高度な機材を用いた作品の台頭は、映像表現の門戸が広く開かれた現代を象徴しています。本コンテストを通じた表現リテラシーの底上げが、石川県の文化振興に寄与することを確信しており、来年度も意欲あふれる作品を心よりお待ちしております。

審査委員長 越田久文 (金沢学院大学准教授)

審査委員

審査委員長	越田 久文	金沢学院大学 芸術学部芸術学科准教授
審査委員	本谷 公夫	元北陸放送番組プロデューサー
〃	岩木 智子	県立生涯学習センター館長

審査結果

石川県教育委員会賞(最優秀賞)	美川と、夢の跡	石川県立金沢錦丘高等学校 放送部
石川県社会教育協会賞(優秀賞)	あーと～アナタのいばしょ～	石川県立金沢錦丘高等学校 放送部
石川県公民館連合会賞(優秀賞)	金工NEWS	金沢市立工業高等学校 前期保健委員会
奨励賞	悪魔祓い(小松市向本折町)	小松市公民館連合会
〃	あきこめ工房。	石川県立寺井高等学校 放送部

===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」で動画配信中！ぜひご覧ください。

「昭和のいしかわ」を知る12作品

今蘇る石川の記録映画

ふるさとモット学び塾

講座ビデオ

「あいあいネット」へのアクセスは
<https://iinet.pref.ishikawa.jp/>

あいあい 石川

で



お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585